

平成25年度（2013年度）


エコアクション21

環境活動レポート

対象期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日



エコアクション21
認証・登録番号0007179

 **城陽ダイキン空調株式会社**

発行日：平成26年（2014年）5月21日

1. ごあいさつ

当社は、ダイキン工業株式会社の代理店として、空調を核とし、その関連設備機器の販売、設計・施工、メンテナンスまで一貫した体制で事業を運営しております。

昭和41年創業以来、「誠実・技術・堅実」を経営理念に、お客様第一の姿勢に徹し、多くのお客様に信頼を得て、設備の専属パートナーとしてお客様の将来の利益を踏まえた提案を行い、問題解決のお手伝いをしております。

近年は、機能面はもちろん、コスト面、環境面、安全面に配慮した製品のニーズが高まってきております。メーカーと一体となり、設計・施工、メンテナンスの全般にわたって、総合的な設備診断を行って、お客様にご満足いただける最適なシステムをご提案申しあげております。

是非、ご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 社是・社訓

社 是

誠	実	と	信	用
熱	意	と	創	意
研	鑽	と	協	力

社 訓

売	ろ	う	信	用	と	技	術	
見	せ	よ	う	誠	意	と	実	力
得	よ	う	信	頼	と	繁	栄	

3. 環境方針

城陽ダイキン空調株式会社

環 境 方 針

<基本理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が、地球上に生きる私たち人類共通の重要課題と考えています。

私たちは、空調その他関連設備機器事業を通じて、環境負荷の低減と、環境に配慮した製品の販売並びに施工・サービスを目指し、三じつ主義（誠実・技術・堅実）に則り、全社一丸となって自主的・積極的に環境への取組を進めてまいります。

<行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 資源及びエネルギーの消費を適正化し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 1. 電力使用量の削減
 2. 資源（ガソリン）使用量の削減
 3. コピー用紙の再生紙化と電子媒体活用によるペーパーレス化推進
 - ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進に努めます。
 1. 一般及び産業廃棄物の分別の徹底
 2. 3R（リデュース・リユース・リサイクル）率の向上
 - ③ 水資源使用量の適正化に努めます。
 - ④ 事務用品のグリーン購入を拡大します。
 - ⑤ 環境に配慮した製品の販売、施工、サービスの推進を図ります。
 - ⑥ 事業所周辺の清掃活動を積極的に行い、地域の環境改善に貢献します。
2. 本方針や環境関連法規制を全従業員に周知徹底を図り、遵守します。
3. 環境教育、地域活動などを実施し、全従業員の環境方針への理解と環境意識の向上に努めます。

制定日：平成24年6月1日

城陽ダイキン空調株式会社

代表取締役社長 澄川 秀幸

4. 取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

城陽ダイキン空調株式会社
代表取締役社長 澄川 秀幸

(2) 所在地

本 社(分室を含む) 大阪府大阪市東成区玉津1丁目10番30号
南大阪営業所 大阪府堺市堺区中之町西2-2-24
神戸営業所 兵庫県神戸市中央区浜辺通2-1-17
三宮国際ビル別館2F
京都営業所 京都府京都市伏見区竹田真幡木町129
奈良営業所 奈良県天理市二階堂上之庄345-1

*本社においては、本館と分室が存在するが、距離的に近くにあり、また、日常業務においても区別していない為、エコアクション21の活動においても本館と分室を一括して本社とする。

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者 常務取締役・総務部長
今西 直文 TEL : 06-6972-3801
担当者 総務部 沢田 正樹 //
春 絵梨子 //

(4) 事業内容

冷暖房機器の卸売及び施工管理

(5) 事業の規模

資本金 80百万円
売上高 8,153百万円

	本社	南大阪(営)	奈良(営)	京都(営)	神戸(営)	合計
従業員	74名	10名	6名	5名	3名	98名
延べ床面積	952㎡	509㎡	240㎡	264㎡	54㎡	2019㎡

(6) 事業年度

4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 城陽ダイキン空調株式会社

本社（分室含む）

南大阪営業所

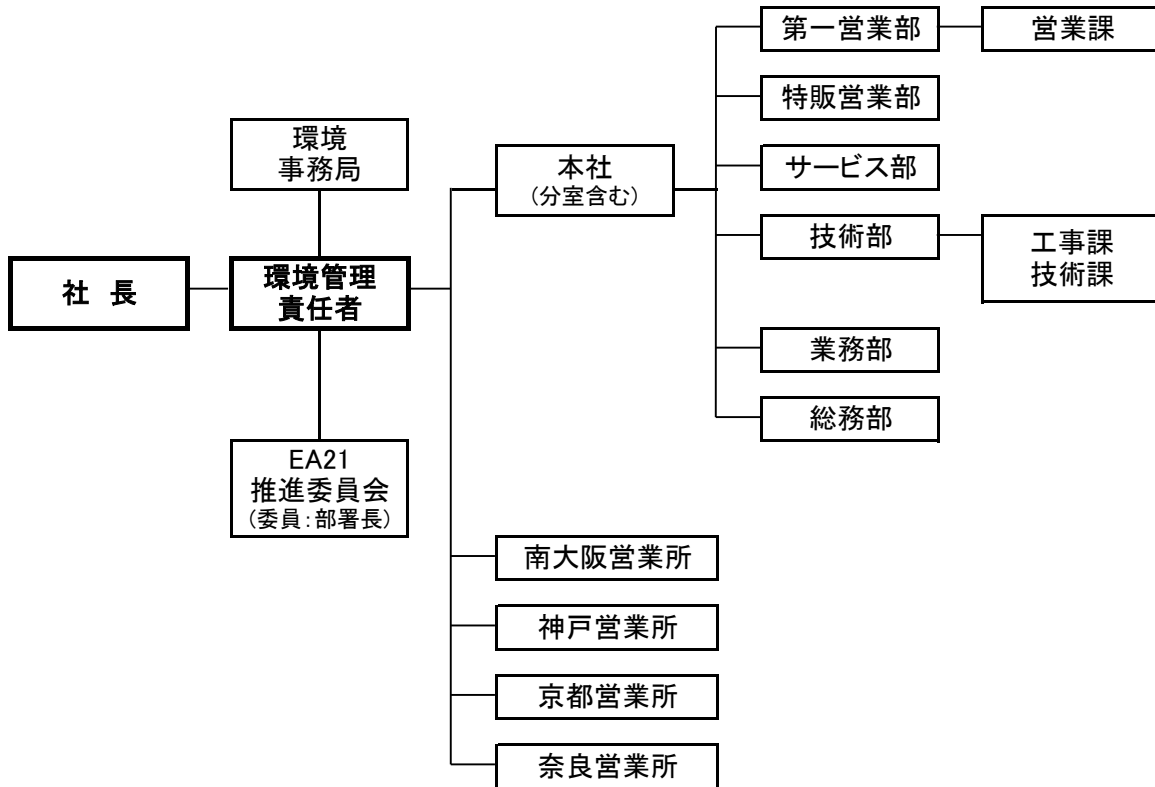
奈良営業所

京都営業所

神戸営業所

活動： 冷暖房機器の卸売及び施工管理

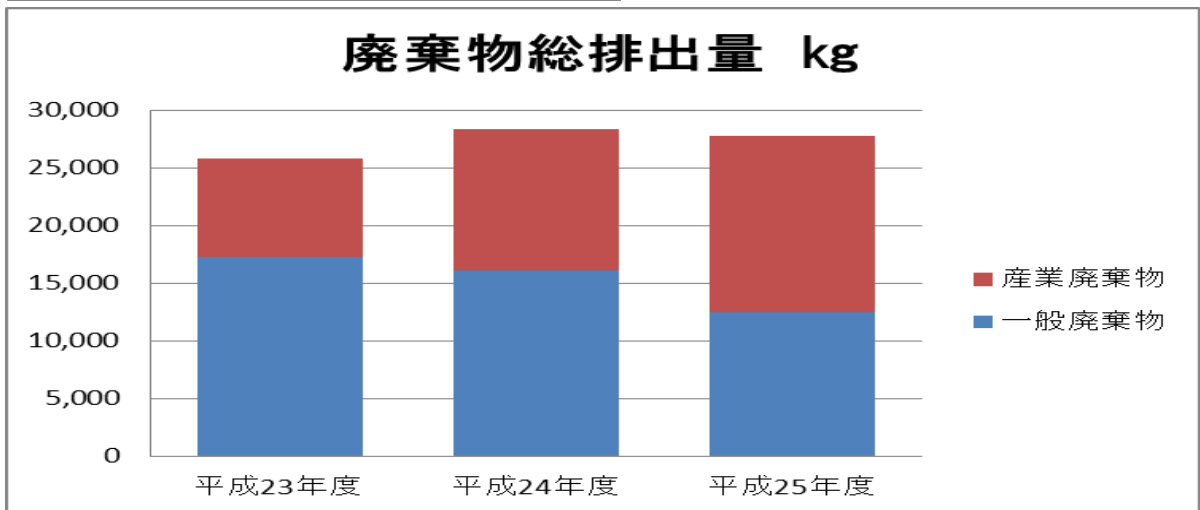
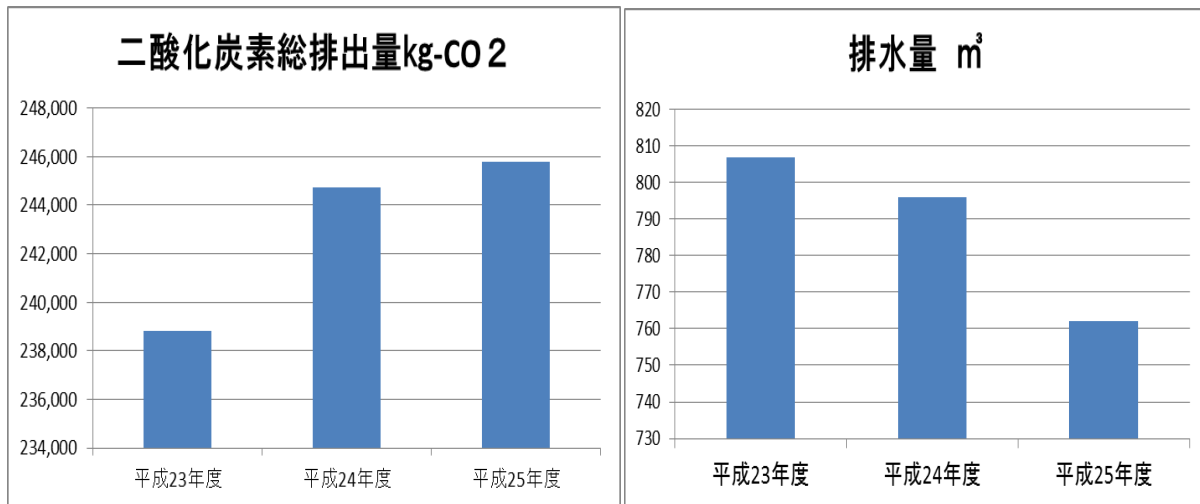
5. 組織の概要



	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認、環境活動レポートの承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 年間活動計画/実績記録表を承認、各手順書の内容の承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認 各部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施の確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成、環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部署長 (EA21推進委員)	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 会社周辺地域の清掃活動への参加

6. おもな環境負荷の実績

項目	単位	平成23年度 (基準年度)	平成24年度	平成25年度
二酸化炭素総排出量 電力の二酸化炭素排出係数 0.355 kg-CO ₂ /kwh	kg-CO ₂	238,826	244,747	245,766
廃棄物総排出量	kg	25,858	28,385	27,852
(一般廃棄物排出量)	kg	17,318	16,152	12,444
(産業廃棄物排出量)	kg	8,540	12,233	15,408
総排水量	m ³	807	796	762



7. 環境目標とその実績

□ 全社合計

年度 項目			平成23年	平成25年		評価	平成26年	平成27年
			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	97%	達成	97%	96%
		(kg-CO2)	78,474	76,905	75,731		76,120	75,335
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	98%	67%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	306	300	206		300	297
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	99%	99%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	170,909	169,200	169,829		165,782	162,364
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	71%	達成	97%	95%
		(kg)	17,610	17,082	12,444		17,082	16,730
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	156%	未達成	97%	95%
		(kg)	9,890	9,791	15,408		9,593	9,396
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	98%	94%	達成	98%	97%
		(m)	807	791	762		791	783
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	57%	達成	52%	55%
		(円)	事務用品購入	-	542,499		-	-
			グリーン購入	-	310,447		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	103%	達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	3,001	3,031	3,089			
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%
		(kg)	回収量	-	139		-	-
			破壊量	-	139		-	-

(*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO₂/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

日本 社

項目		年度		平成23年		平成25年		評価	平成26年		平成27年	
		基準年度		目標	実績	目標	目標					
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	96%	達成	98%	97%				
		(kg-CO2)	49,786	48,790	47,610		48,790	48,292				
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	98%	64%	達成	98%	97%				
		(kg-CO2)	198	194	127		194	192				
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	97%	95%	達成	97%	95%				
		(kg-CO2)	83,554	81,047	79,134		81,047	79,376				
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	76%	達成	97%	95%				
		(kg)	13,856	13,440	10,486		13,440	13,163				
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	97%	216%	未達成	97%	95%				
		(kg)	4,580	4,443	9,900		4,443	4,351				
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	98%	87%	達成	98%	97%				
		(m)	595	583	516		583	577				
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	52%	達成	52%	55%				
		(円)	事務用品購入	-	198,486		-	-				
		グリーン購入	-	103,789	-		-					
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	112%	達成	各年度初めに目標値を設定					
		(台)	1,135	1,146	1,271							
化学物質削減	フロンの適正な回収と破壊 (建設現場)		破壊量/回収量	100%	100%	達成	100%	100%				
		(kg)	回収量	-	139		-	-				
		破壊量	-	139	-		-					

(*1) 電力の削減……………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) エコ製品の販売促進…省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 南大阪営業所

項目		年度		評価	平成26年 目標	平成27年 目標		
		平成23年 基準年度	平成25年 目標 実績					
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	92%	達成	98%	97%
		(kg-CO2)	15,734	15,419	14,400		15,419	15,262
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	98%	114%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	64	63	73		63	62
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	99%	101%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	50,977	50,467	51,418		49,448	48,428
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	56%	達成	97%	95%
		(Kg)	1,668	1,618	936		1,618	1,585
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	97%	82%	達成	97%	95%
		(Kg)	4,675	4,535	3,850		4,535	4,441
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	98%	119%	未達成	98%	97%
		(m)	114	112	136		112	111
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	51%	達成	52%	55%
		(円)	事務用品購入	-	225,805		-	-
			グリーン購入	-	115,670		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	106%	達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	865	874	913			

(*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 奈良営業所

項目		年度		平成23年		平成25年		評価	平成26年	平成27年
		基準年度	目標	実績	目標	目標				
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	88%	達成	98%	97%		
		(kg-CO2)	7,432	7,283	6,539		7,283	7,209		
	ガスの削減 (事務所)	基準年比	-	98%	53%	達成	98%	97%		
		(kg-CO2)	19	19	10		19	18		
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	99%	118%	未達成	97%	95%		
		(kg-CO2)	16,340	16,177	19,258		15,850	15,523		
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	68%	達成	97%	95%		
		(Kg)	301	292	206		292	286		
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	97%	188%	未達成	97%	95%		
		(Kg)	320	310	600		310	304		
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	98%	101%	未達成	98%	97%		
		(m)	76	74	77		74	74		
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	93%	達成	52%	55%		
		(円)	事務用品購入	-	50,249		-	-		
		グリーン購入	-	46,574	-		-			
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	84%	未達成	各年度初めに目標値を設定			
		(台)	533	538	446					

(*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品 (エコジアス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 京都営業所

年度 項目			平成23年	平成25年		評価	平成26年	平成27年
			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	158%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	2,728	2,673	4,299		2,673	2,646
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	99%	99%	未達成	97%	95%
		(kg-CO2)	11,599	11,483	11,536		11,251	11,019
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	52%	達成	97%	95%
		(Kg)	1,152	1,117	601		1,117	1,094
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%	336%	未達成	97%	95%
		(Kg)	315	312	1,058		306	299
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	基準年比	-	98%	80%	達成	98%	97%
			41	40	33		40	40
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	93%	達成	52%	55%
		(円)	事務用品購入	-	29,038		-	-
			グリーン購入	-	27,061		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*3)	基準年比	-	101%	74%	未達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	307	310	227			

(*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品 (エコアス80、ルームエアコンRX・HX)

□ 神戸営業所

年度 項目			平成23年	平成25年		評価	平成26年	平成27年
			基準年度	目標	実績		目標	目標
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所) (*1)	基準年比	-	98%	105%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	2,795	2,739	2,882		2,739	2,711
	自動車燃料の削減 (事務所)	基準年比	(基準年度H24年)	99%	102%	未達成	98%	97%
		(kg-CO2)	8,439	8,355	8,483		8,270	8,186
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	基準年比	-	97%	35%	達成	97%	95%
		(Kg)	633	614	215		614	601
	産業廃棄物の削減 (建設現場) (*2)	基準年比	-	99%		達成	97%	95%
		(Kg)	5	5	0		5	5
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入		グリーン比率	50%	35%	未達成	52%	55%
		(円)	事務用品購入	-	38,921		-	-
			グリーン購入	-	17,353		-	-
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進 (*4)	基準年比	-	101%	143%	達成	各年度初めに目標値を設定	
		(台)	161	163	232			

(*1) 電力の削減………二酸化炭素排出係数：0.355 (kg-CO2/kwh)

(*2) 産業廃棄物の削減………施工管理や保守点検の現場で発生した廃棄物である。

(*3) 水道水の削減………テナントに入っており、当社での使用実績が把握できないために、
取組項目にはあげていないが、節水活動は実施している。

(*4) エコ製品の販売促進………省エネ効率が高い製品 (エコジラス80、ルームエアコンRX・HX)

8. 環境活動計画と結果及びその評価、次年度の取組内容

□ 全社合計

◎よく出来た ○概ね出来た △あまり出来なかった ×全く出来なかった

環境活動計画		結果	継続/変更	評価、次年度の取組内容	
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
		・パソコン、コピー機などの省電力設定化	○	継続	
		・定期的なITツールのフィルタ-清掃、交換	△	継続	原発稼働の影響により節電への意識がいつも以上に高く、それが数値に反映された。
		・空調の適温化を徹底（冷房28℃暖房20℃程度）	○	継続	
		・業務の効率化を図り、残業時間を減らす	△	継続	
	・数値目標	◎	■上方修正 □下方修正 □基準見直し		
	ガスの削減 (事務所)	・冬季以外の給湯停止	◎	継続	意識して使用軽減取組を行っている。使用軽減の意識を継続させる。
		・意識して使用軽減に取り組む	○	継続	
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	◎	継続	
		・数値目標	△	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し	
	自動車燃料の削減 (事務所)	・エコドライブ等の運転方法を励行	△	継続	数値目標はクリアできていない。エコドライブの徹底など、定期的に社員へ啓蒙し、削減を目指す。
		・タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正値の維持	△	継続	
		・社用車の効率的な使用を徹底する	○	継続	
		・不要な荷物を積んだまま運転しない	○	継続	
		・近距離の用務には公共交通機関を利用する	△	継続	
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減 (事務所)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
		・会議資料などの書類簡素化、A°-B°-化	○	継続	更なる削減を目指し、ペーパーレス化の推進、分別回収の徹底を強化する。
		・両面や2枚焼きによる印刷、コピーの徹底	○	継続	
		・使用済み用紙などの裏紙利用	○	継続	
		・マイ箸、マイカップ、マイ水筒、マイバッグを使用する	△	継続	
		・分別回収ボックスにより、ごみの分別を徹底	◎	継続	
	産業廃棄物の削減 (建設現場)	・数値目標	×	□上方修正 ■下方修正 □基準見直し	
		・機器等の故障時は修理等により長期使用を図る	△	継続	
		・クレームの発生撲滅に努める	△	継続	
		・分別廃棄を徹底し、できるだけリサイクルに努める	○	継続	
排水量削減	水道水の削減 (事務所)	・数値目標	○	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
		・手洗い、洗い物時における節水の励行	○	継続	啓発ラベルの掲示により意識向上。
		・啓発ラベルやステッカーを掲示する	◎	継続	
環境配慮資材購入	事務用品のグリーン購入	・数値目標	○	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
		・再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入	○	継続	グリーン購入の割合を増やしていく。
		・B°-用紙、印刷物等について再生紙を購入する	○	継続	
		・環境ラベル認定製品の購入	○	継続	
		・購入計画を徹底し、余剰品の削減に努める	○	継続	
製品への環境配慮推進	エコ製品の販売促進	・数値目標	○	□上方修正 □下方修正 ■基準見直し	
		・家庭用エアコンのRX、HXシリーズの販売推進	○	変更	4月以降に来年度の目標を設定する。
		・業務用エアコンについては、スカイエア全体に対するecoZEAS80の構成比を30%以上に高める	○	変更	
化学物質削減	フロンなどの適正な回収と破壊 (建設現場)	・数値目標	◎	□上方修正 □下方修正 □基準見直し	
		・法令を遵守し、回収したフロンについては適正な破壊処理を行う	◎	継続	フロンなどの適正な処理を継続する。
		・毎年、定期的に報告書を作成し、近畿の各府県に提出する	◎	継続	

9. おもな環境関連法規について

適用されるおもな法規制とその遵守状況（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	法規制等の名称	要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	マニフェスト管理、マニフェスト交付等状況報告、契約書保管	○
2	フロン回収・破壊法	フロン類の適切な回収と破壊処理	○
3	PRTR法	前年度の第1種指定化学物質排出量等の届出	○
4	毒劇法	取扱責任者の選任、盗難・紛失の防止など	○
5	騒音規制法	地域別騒音基準の遵守	○
6	NOx・PM法	大阪府条例（自動車流入規制、ステッカー貼付）	○
7	消防法	防火管理者選任、消防計画書の届出	○
8	高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止、40℃以下、警戒標など	○
9	家電リサイクル法	該当する家庭用ITITの適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。
また、外部コミュニケーションとして上記期間に、環境に関する苦情はありません。

10. 代表者による全体評価の見直しの結果

- エコ製品の販売においては、11月より発売開始となったファイブスタージアスがその省エネ性からも注目されているが、従来から拡販に力を入れていたエコジラス80と合わせて、それらの構成比を今後、高めていく努力が必要である。
今夏の猛暑にも対応していくため、さらなる省エネ機の販売を促進していかなければならない。
- 期末に数台のプロジェクターを購入した。業務の効率化を図るとともに、社内のペーパーレス化、および廃棄物の削減にも繋げていってほしい。

11. 環境活動

1) 環境活動の一環として、全社で社屋近隣の清掃ボランティアを行っています。

- 開始：平成22年(2010年)12月22日から
- 範囲：社屋近隣周辺
- 頻度：毎週1回始業前の朝8:20~8:35
- 担当：全部門全従業員



2) 冬季のウォームビズの一環として、本社ビル各フロアの西側窓に発砲スチロール板を設置しました。

- 設置日：平成25年1月



以 上